

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第29回放送の概要 (2011年1月29日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 石川遼です。峰山真彩 (まい) ちゃんは8歳の元気な女の子。でも輸血をしなければ生きてこれなかった。峰山真彩です。献血してくれてありがとうございました。僕らも命の助けになれる。20歳の献血。Love in Action。日本赤十字社。

1. オープニング

インフルエンザが本格的に流行している。鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火で宮崎県 (鹿児島県) はとてもお気の毒な状態になっている。火山灰による健康への影響や処理に水を使うと下水道が駄目になるようでこれからが本当に大変になるようです。

2. ゲストコーナー: 中野千治さん (69 陽会)

中野千治さん (69 陽会)、直子さん (71 陽会) ご夫妻にお越し頂きました。

中野千治さんは御蔵小学校、苅藻中学校から兵庫高校へ進学された生粋の長田っ子である。高校時代は山岳部で、小さい時から山が好きで名前の千治 (ちはる) もスキー選手の猪谷千春さん (注: 1956年に開かれたコルティナダンペッツォオリンピック男子回転競技で日本の冬季オリンピック史上初の銀メダルを受賞) からもらったのでスキーをやりたいとずっと思っていた。山岳部であればスキーも登山も出来るので入部した。初めの頃は山登りは40Kgの荷物を持って登るので大変だった。毎日家に帰ってから40Kgの石を背負って家から兵庫駅まで往復していた。一度泥棒と間違われおまわりさんに呼び止められ何をしているのと聞かれた。昨年兵庫高校山岳部が高校総体で優勝したが、中野さんの時代は当初顧問の先生がいないため高校総体には行けなかったが、仙波先生に顧問になっていただき高校総体に参加できるようになった。当時は神戸高校が兵庫県で優勝していた。昨年兵庫高校が優勝したので後輩が頑張っているなとうれしく思った。山岳部の試合の内容としては山登りのスピード、テント設営のスピード、天気図を書いたりするなどを総合判断して決められる。

奥さんは中学からやっていた卓球部で活躍していた。試合での個人成績はそれほどよくはなかったが、インターハイ、春の選抜大会などの全国大会に出場出来たということで島田杯を2回頂いた。当時は島田杯の価値がわからなかったがあとでわかってびっくりした。島田杯は運動部だけでなく全国的な活躍をした人に与えられた。

島田叡 (あきら) さんは兵庫高校前身の神戸二中出身で、戦時中最後の沖縄県知事として赴任された方で、沖縄県民の



ために尽くされ終戦前に亡くなられた。今もって沖縄の人々から慕われ本土返還時沖縄と兵庫県が仲良くしようということで友愛提携をした。沖縄では野球の試合などで優勝すると島田杯が授与されている。

菅原商店街の少し外れたところで親御さんが洋服店をしており、小さい時から市場が遊び場であり、お好み焼きやたこ焼きを楽しんでいた。地震時 2 階建ての家がぺしゃんこになり、たまたま 1 階に寝ていたが上がベランダのため助かり這い出して逃げた。母親は 2 階に寝ていたがそのまま地面に落ち、窓を見ると車が通っていたので道が盛り上がったと錯覚した。窓から飛び出したがガス漏れが激しくすぐに燃え上がった。御蔵小学校の校区の半分が焼失し 300 人近い方が亡くなった。中野さんの近所の親戚は大丈夫であったが友達には亡くなった方がいる。震災後丸山のお姉さん宅に避難し、かなり後に大阪のりんくうタウンの仮設住宅に移った。海の家のような場所で毎日釣りをしていた。奥さんは北区の鈴蘭台であったため地震の影響は少なかった。ご主人とは地震発生直後は連絡出来たがその後は連絡がとれず状況が分かるにつれ心配になり、丸山まで歩いて訪ねて行き元気であることが確認できた。

震災 1 カ月後の平成 7 年 2 月に結婚式を予定していたが、式場が被災して出来ないということで結婚式はなしにしようと話していた。親がたまたま新聞で桂由美さんの被災者向け無料合同結婚式を募集しているという記事を見て応募したところ、400 組の中から 15 組が選ばれその中に入ることができた。これが朝日新聞の一面に掲載され思い出深い結婚式となった。

仕事は農業関係で、ため池や水路を守るための住民の保全活動のコミュニティに関係しているが、震災時は地域にそのようなコミュニティがなかったので、コミュニティ、人のつながり、普段からの人の連携が大事であることを実感した。今菅原地域は地震で苦労した結果連携が必要ということで自治会が公園の清掃など日曜日に集まり一生懸命やっている。



1995 年 4 月 16 日朝日新聞 左端が奥様

元々商店街が好きなので震災から 10 年後に町をもう一度見直そうと思い、神戸の商店街が頑張っていることがわかったので平成 17 年より商店街 50 か所を歩いた。町並みの写真を撮り、ホームページ (HP) にアップしたところアクセスがかなりあり、中央区の大安亭商店街からはこんな商店街が好きの人がいるんやということで激励のメールをもらった。HP を立ち上げたのは、ほのぼのとした商店街に哀愁を感じるので商店街を軸とした人の繋がりを大事にしたいこと、レトロな昭和的ところが自分の琴線に触れるのでそのあたりを皆さんに紹介しようと思ったからである。HP では自分の趣味である「神戸まち探訪下町商店街レポート」を、また「神戸下町ブログ」では普段の生活や各地の商店街で開催されるイベントを紹介し、これをきっかけにブログ友達ができている。食べ物関係では「下町グルメツアー」「立ち飲みツアー」、また「銭湯ツアー」などやってきた。御蔵菅原地区が元々お好み焼きが店が多かったが地震でなくなり、今、復活してきているので見てほしいと思い「お好み焼きツアー」を行ったところアクセス件数の多いブログ仲間が集まり、その仲間のブログを見てさらに人が増えている。中野さんのブログは 1 日 700~1000 件のアクセスがある。お好み焼きツアーについては神戸新聞記者で立ち飲み友達の大月さんが記事にしたいということで昨年 2 月取材があった。

ブログランキングでは中野さんのアクセスは神戸部門で 2 位で 1 位は吉本新喜劇の人のものでこの人にはかなわないが多くの人が見てくれている。このようなコミュニティは非常に楽しい。一時大型店に地元が押されたが今は大型店が出て行き商店街を見直そうという気運がある。そのような動きをまとめていけば良い地域興しになる。東山商店街だけは閉まった店もあるが兵庫区ではここだけ、特に若



手が頑張っている。

ご主人がこのようなツアーなどを行っていることについて、奥さんとしては楽しそうに出かけるのでご主人の趣味には文句を言わないことにしている。一緒に食事に行ってもすべて写真に収めないと気が済まないのではなかなか先に進めないのが困る程度です。

今年やりたいのは人気の高い六甲全山縦走の都会版で商店街縦走を計画している。六甲山沿いに商店街が連なっているので六甲本通り商店街から水道筋、春日野道、三宮、元町、新開地、湊川から新長田の鉄人 28 号までのツアーをやりたいと考えている。

中野さんは山岳部、アーチェリーその他ジムにも通っておられる。今は商店街歩きとジム通いで去年は新長田のコナミに 197 回通った。従って休みはほとんどに家にいない状態です。

神戸の商店街の活性化に今後とも貢献してください。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

以前にゲスト出演頂いた宮崎泰樹さんの作品展が 2 月 2 日～2 月 27 日、10 時～18 時、最終日は 15 時まで、火曜と祝日は休みで宝塚の額縁の店ナギワさん（宝塚ホテルのすぐ南）においてレトロな洋館を描いた作品が展示されています。

長田神社の節分祭では追儀式と節分行事があります。14 時頃から色んな鬼が出てきます。この機会に長田神社から長田商店街を巡り公設市場や下町を見直していただければと思います。

4. 来週のゲスト

来週のゲストは傘寿をすぎてコーラスを楽しんでおられる本田啓之さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com